

## 日本天文学会昭和48年度春季年会記事

昭和48年度春季年会は、5月15日(火)～18日(金)の4日間、東大理学部2号館講堂(本郷)で行なわれた。講演数125、出席者約270名、座長にはつぎの方々をお願いした。

- 15日午前 高倉達雄, 河簗公昭(講演数15)  
 午後 川口市郎, 赤羽賢司(17)  
 16日午前 小暮智一, 北村正利(15)  
 午後 須田和男, 一柳寿一(20)  
 17日午前 田中春夫, 海野和三郎(15)  
 午後 藤本光昭(11)  
 18日午前 青木信仰, 菊池定衛門(15)  
 午後 弓 滋, 飯島重孝(17)

なお会期中、評議員会、懇親会、総会、および理事会(新旧合同)があり、総会の席上で天体発見賞贈呈式が行なわれた。また天文教育懇談会も併催された。

### 総会議事録

(5月17日午後3時50分～5時10分、講演会場で開催)

議長：奥田豊三理事長

- 次第：1. 天体発見賞贈呈の件  
 2. 昭和47年度会務報告  
 3. 昭和47年度会計報告  
 4. 昭和48年度予算案  
 5. 次期理事長・副理事長の選出  
 6. 次期理事指名  
 7. 欧文研究報告編集委員依頼  
 8. 大塚奨学金選考委員依頼  
 9. 会計監査依頼  
 10. 新理事長挨拶  
 11. 定款理事会案について  
 12. 光害防止運動について

### ◇天体発見賞贈呈の件

評議員会の議決案通り承認され、昨1972年10月31日19時(世界時)、とも座に新彗星(Kojima 彗星1972j)を発見した小島信久氏に対して天体発見賞が贈呈された。

◇昭和47年度会務・会計報告および昭和48年度予算案(付録参照)

それぞれ庶務・会計理事より報告があり、承認された。

### ◇次期役員決定

評議員会からの推薦に基き、理事長・副理事長を選出した後、新理事長から諸役員の指名・委嘱が行なわれ、次期役員はつぎのように決定した。

(○印は法定理事)

理事長：○齋藤国治

副理事長：○飯島重孝, ○川口市郎

理事：

庶務 ○平山 淳, ○内田 豊, 中桐正夫

会計 ○古川麒一郎, ○平山智啓

欧文報告編集 ○海野和三郎(編集長), ○寿岳 潤

○内田 豊, 日江井栄二郎, 堀源一郎

天文月報編集 ○森本雅樹, ○木下 宙, 香西洋樹  
 中嶋浩一, 横尾広光

支部理事：

北海道 坂下志郎

水 沢 ○横山紘一, 岡本 功

仙 台 ○須田和男, 竹内 峯

東 京 小平桂一, 虎尾三春, 中村芳昭, 北郷俊郎

村山定男, 森 巧

名古屋 村井忠之

京 都 ○上杉明, 久保田諱, 中野武宣, 平田竜孝

中国・四国 ○三沢邦彦, 石田五郎

欧文報告編集委員：

### 表彰状

日本天文学会会員

小 島 信 久 殿

あなたは昭和47年10月31日19時11分(世界時)、14等級の微光新彗星を、とも座に発見されました。この発見は、あなたの長年にわたる御努力と、格段の観測技術によるもので、まことに欣快にたえません。本会は評議員会の議決により、ここにあなたが天文学の進歩および普及に特別な功労があったものとして、日本天文学会天体発見賞規定により、賞牌を贈呈して、あなたを表彰するしだいでありませう。

昭和48年5月17日

社団法人 日本天文学会

理事長 奥 田 豊 三

大沢清輝, 奥田豊三, 古在由秀, 清水 彊  
末元善三郎, 高窪啓弥, 田中春夫, 林忠四  
郎, 宮本正太郎

大塚奨学金選考委員:

今川文彦, 河鱒公昭, 北村正利, 須田和男  
長谷川一郎, 安田春雄

会計監査: 大脇直明, 下保 茂

◇定款理事会案について(別項学会だよりの記事参照)

昨年の総会以後, この件について理事会が進めてきた  
作業の経過報告と, 本総会にその最終案を上程するに至  
らなかった経緯の説明がなされ, これに関する評議員会  
の決定——次期理事会にこの問題についての継続審議を  
求める——を総会で了承した。

◇光害防止運動について

「日本星空を守る会」から, その光害防止運動の経過  
と, 本会の協力に対する謝意が伝えられた。

#### [付録1] 昭和47年度(1972~1973)会務報告

昭和47年度は, 本会創立65年度, 社団法人設立後39年  
にあたる。

#### 本年度に行った事業

(イ) 出版

1) 欧文研究報告 (Publications of the Astronomical Society of Japan)

第24巻 第2号 146頁 (昭和47年4月25日発行)

第24巻 第3号 132頁 (昭和47年7月25日発行)

第24巻 第4号 146頁 (昭和47年10月25日発行)

第25巻 第1号 156頁 (昭和48年1月25日発行)

2) 天文月報

第65巻第4号から第66巻第3号まで毎月発行

(ロ) 年会

1) 春季年会 昭和47年5月22日~25日

東京大学理学部2号館講堂で開催

講演数 124 出席者 300名

2) 秋季年会 昭和47年10月23日~25日

水沢市農協会館講堂で開催

講演数 99 出席者 110名

#### 総会および評議員会

(イ) 通常総会

昭和47年5月24日午後3時半より東京大学理学  
部2号館講堂で開催

議長: 奥田豊三

議題: 1. 天体発見賞贈呈の件

2. 昭和46年度会務報告

3. 昭和46年度会計報告

4. 昭和47年度予算

5. 次期評議員改選

6. 牧田理事辞任承認の件

7. 光害規制運動の件

8. 定款改訂についての経過報告

(ロ) 評議員会

1) 昭和47年4月10日午後2時より東京大学理学部

天文学教室会議室で開催

議長: 奥田豊三

議題: 1. 昭和46年度会務報告, 会計報告

2. 昭和47年度予算案の件

3. 天体発見賞贈呈の件

4. 新評議員推薦の件

5. 学会定款改訂問題について

2) 昭和47年5月23日午後0時20分より東京大学総

合図書館集會室で開催

議長: 藤田良雄

議題: 1. 総会提出議案の確認

2. 秋季年会の件

#### その他のおもな会務

(イ) 天体発見賞贈呈 (5月24日)

桑野善之氏(ケフェウス座新星1971, 1971年7月  
10日発見)に天体発見賞を贈呈した。

(ロ) 昭和47年度本会奨励研究生として, 大石正幸, 出

口修至, 中村泰久, 畑中正樹の4氏を決定した。

(7月1日)

(ハ) 環境庁に対して, 光害規制の要望を行なった。

(8月1日)

(ニ) 東京天文台の一般公開を後援した。(10月14日)

(ホ) 昭和47年度大塚奨学金給付の該当者はなしと決定  
した。(10月23日)

(ヘ) 東レ科学技術研究助成候補を2件推薦申請した。

(11月2日)

(ト) 学術会議にて, 昭和48年度科学研究費補助金の配

分審査委員(第一段)候補者として, 弓 滋, 高

瀬文志郎の両氏を推薦した。(11月7日)

(チ) 文部省より, 昭和47年度研究成果刊行補助金とし

て, 欧文研究報告に対し46万円が交付された。

(11月28日)

(リ) 欧文研究報告総索引号(第1巻~第20巻)の刊行

を中止し, 予定されていた文部省二次刊行物補助

金を辞退した。(48年2月27日)

(ル) 学術交流関係事務として, 年会発表者に対する旅

費の補助を行なった。

#### 会 員 数 (3月31日現在)

	本年度	昨年度
名誉会員	5	(5)
特別会員	403	(398)
通常会員	1,399	(1,405)
賛助会員	35	(35)

## 〔附録2〕 昭和47年度収支決算書

(自昭和47年4月1日 至昭和48年3月31日)

日本天文学会

経常部

(単位 円)

収 入		支 出	
前期繰越金	704,569	欧文報告調製費	2,818,318
会 費	3,721,278	欧文報告複製費	0
欧文報告販売	2,244,815	天文月報調製費	2,166,598
天文月報販売	574,971	諸印刷物調製費	718,405
諸印刷物販売	1,346,267	送料通信費	800,839
印 税	807,300	交 通 費	136,230
利 息	57,359	定 会 費	68,000
雑 収 入	1,819,624	謝 金	505,030
欧文報告出版費	250,000	人 件 費	625,075
文部省刊行補助金	460,000	物 品 費	0
		雑 費	348,526
		次期繰越金	*3,799,162
計	11,986,183	計	11,986,183

\* 学会事務所移転延期のため支出できなかった欧文報告複製費500,000円および事務長後任空席のため人件費の剰余分644,925円を含む。

## 臨時部

前期繰越金	1,651,197	研究補助費	336,000
賛助会費	640,000	学術交流費	207,800
利 息	8,083	人 件 費	70,900
		送料通信費	21,824
		次期繰越金	1,662,756
計	2,299,280	計	2,299,280

日本天文学会保有有価証券類 金額 2,656,731 円  
内訳

大塚奨学金	住友信託 貸付信託	1,000,000 円
	住友信託 普通預金	231,584 円
三菱銀行	定期預金	1,305,147 円
電信電話債券		120,000 円

監査の結果、収支決算の正しいことを証明いたします。

昭和48年4月3日

藤田良雄 ㊟

広瀬秀雄 ㊟

## 〔付録3〕 昭和48年度予算書

(自昭和48年4月1日 至昭和49年3月31日)

日本天文学会

経常部

(単位 円)

収 入		支 出	
前期繰越金	3,799,162	欧文報告調製費	3,500,000
会 費	4,000,000	欧文報告複製費	1,200,000
欧文報告販売	2,000,000	天文月報調製費	2,700,000
天文月報販売	500,000	諸印刷物調製費	1,300,000
諸印刷物販売	1,000,000	送料通信費	1,000,000
印 税	500,000	交 通 費	200,000
利 息	40,000	定 会 費	120,000
雑 収 入	1,500,000	謝 金	650,000
欧文報告出版費	250,000	人 件 費	1,800,000
文部省刊行補助金	560,000	物 品 費	800,000
		雑 費	879,162
計	14,149,162	計	14,149,162

## 臨時部

前期繰越金	1,662,756	研究補助費	336,000
賛助会費	640,000	学術交流費	200,000
		人 件 費	100,000
		送料通信費	50,000
		欧文報告費	450,000
		総索引調製費	500,000
		事務移転関係費	500,000
		予備費	666,756
計	2,302,756	計	2,302,756

## 学会だより

## 学会定款問題についての経過報告(48年度総会時現在)

昭和46年春に発足した前理事会は、数年来の懸案である学会定款問題を、二年間の任期中に何とか解決することを目標に、諸種の討議と作業を進めて来た。しかし結局は、48年春の総会に定款理事会案を上程する運びにはならず、この問題は新理事会へ引継がれることになった。ここにその間の経緯を記して会員諸氏の御了承を得たい、ただし47年春の総会までの経過は本誌47年5月号130頁に、また同年秋の年会(水沢)での中間報告は47年12月号328頁に記載されているので、本号にはそれ